

慢性中耳炎の急性増悪時における Virus と Mycoplasma の感染について

杉山正夫・田辺恭二
愛場庸稚・中井義明*

慢性中耳炎の患者は風邪を引くと耳漏が急に増加し、急性増悪という状態になることがよく知られている。しかし、いわゆる風邪引きの状態になる風邪症候群には、いろいろの原因がある。その主な原因の一つは呼吸器系への Virus 感染がある。そこで慢性中耳炎で急に耳漏が増加した case では、Virus 感染を受けているだろうか。これを知る目的で、この研究を行った。

慢性中耳炎の患者で急に耳漏の増加を訴え受診した25人より末梢血を採取し、呼吸器系疾患を惹起すると考えられている Influenza A, B, Parainfluenza 1, 2, 3, Adenovirus, RSV と Mycoplasma の血清抗体価を測定した。その内10例は paired sera を得ることが出来た。paired sera について2管以上(4倍以上)の抗体価の上昇を感染と考えるなら10例中、2例に感染を認めた。1例は RSV で抗体価が16倍上昇した。他の1例は Influenza B で抗体価は32倍上昇していた。耳漏の急な増加を訴え受診した

25症例の43 sample の Virus 抗体価は季節による差はなかつた。Mycoplasma については43 sample とも抗体価は<40であつた。全例について耳漏と咽頭腔から Mycoplasma の同定を試みたが、1例について咽頭腔より Mycoplasma pneumoniae が分離されたが、耳漏からは分離されず、抗体価の上昇もなく感染とは考えにくい case であつた。

この結果から慢性中耳炎の急性増悪が Virus 感染で起つている case は、それほど多くない様に思える。しかし、一方、この結果は慢性中耳炎患者の呼吸器系に Virus 感染が起ると、耳漏が増加し、急性増悪の状態になる場合があることの証明でもある。この研究では上気道感染を起すと考えられる Rhinovirus, Coronavirus, その他の Virus について検討していないが、これらの Virus についても検討すれば、慢性中耳炎の急性増悪が Virus によつて惹起される頻度が高まるものと思える。

慢性副鼻腔炎における起炎菌の現状

荻野 仁・石田 稔・玉置 弘光
松永 亨**・雑賀 宏***

慢性副鼻腔炎の起炎菌の報告は従来より多数あるが、近年抗生剤の使用状況の変化に伴い起炎菌が変化してきている可能性もあるため、今回慢性副鼻腔炎の起炎菌および、各種 Cephem 系抗生剤に対する感受性について検討した。

対象および方法

慢性副鼻腔炎患者57名を対象として、鼻腔内細菌検査30名48例、副鼻腔内細菌検査35名40例(上顎洞37例、篩骨洞3例)を施行した。両検査を施行したものは8名であつた。鼻腔内細菌は、鼻腔内膿汁を

* 大阪市立大学医学部耳鼻咽喉科学教室

** 大阪大学医学部耳鼻咽喉科学教室

*** 富田林病院耳鼻咽喉科